

2025 年 10 月 28 日
古河機械金属株式会社

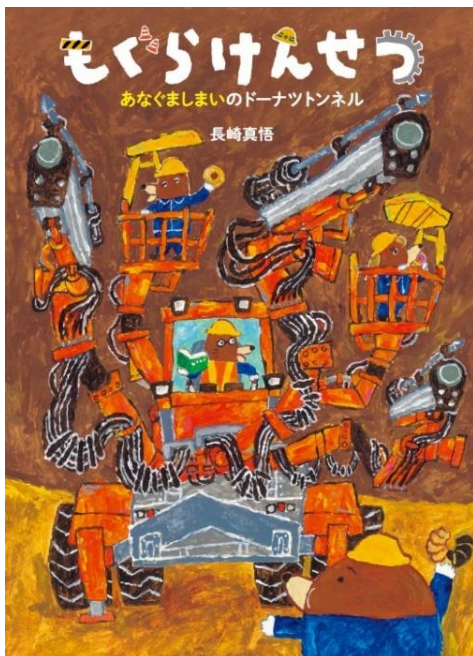
ロックドリル部門：ドリルジャンボ等のトンネル機械が絵本に登場 ～10 月 29 日発売の「もぐらけんせつ」シリーズ第 3 弾の制作に協力・監修～

当社（本社：東京都千代田区、社長：中戸川 稔）および当社グループの中核事業会社でロックドリル部門を担う古河ロックドリル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：山口 正己）は、株式会社童心社（東京都文京区、社長：後藤 修平）が 10 月 29 日に発売する人気絵本『もぐらけんせつ あなぐましまいのドーナツトンネル』（作：長崎 真悟）の制作に協力・監修。トンネル施工で使用されるドリルジャンボや油圧ブレーカ、コンクリート吹付機が絵本に登場しました。

本作は、累計発行部数 74,000 部（2025 年 10 月 8 日現在）の人気絵本「もぐらけんせつ」シリーズの第 3 弾。主人公となる、町いちばんの工事の会社「もぐらけんせつ」が、山の向こうにあるドーナツ屋さんと町をつなぐため、山岳トンネル工事に挑む物語です。

絵本制作にあたり、出版社の童心社より取材協力・監修の要請を受け、作者の長崎真悟先生が古河ロックドリルの吉井工場を訪問。トンネル施工で使用されるトンネル機械の役割や特徴等の取材を行ったほか、実機となるトンネルドリルジャンボの作動を間近で見学されました。この取材を通じて得た知識・見識をもとに描かれたトンネルドリルジャンボ等のトンネル機械は、絵本の中で生き生きと迫力ある姿で登場し、実際のトンネル施工に近い掘削方法も、リアルに再現されています。

当社および古河ロックドリルは、同絵本を通じて、山岳トンネルがどのように掘られているか、どのようなトンネル機械が活躍しているかを、読者である子供たちや親御さんに知っていただくとともに、この絵本を入り口に将来、トンネル機械の製造工場やトンネル工事現場での仕事に興味を持ってもらうことを期待しています。



『もぐらけんせつ あなぐましまいのドーナツトンネル』

『もぐらけんせつ あなぐましまいのドーナツトンネル』の概要（童心社公式サイトより一部引用）

内 容：もぐらけんせつの町で人気のドーナツ屋さん、あまりの人気で売り切れつき。「おみせがもっとちかかったら、たべてもらえるんやけどなあ」。「あなぐまドーナツ」は遠くの山の向こうから、ときどきドーナツを売りに来ているのです。ドーナツを食べたいという町のみんなの気持ちにこたえ、もぐらけんせつは山岳トンネルの工事に着手します。ドリルジャンボや油圧ブレーカ、おなじみのホイールローダーやショベルカー、ダンプカーまで、カッコいい重機が大活躍。ゆかいなもぐらたちの仕事ぶりも見所の、たのしいおはなし絵本です。

発 行：株式会社童心社

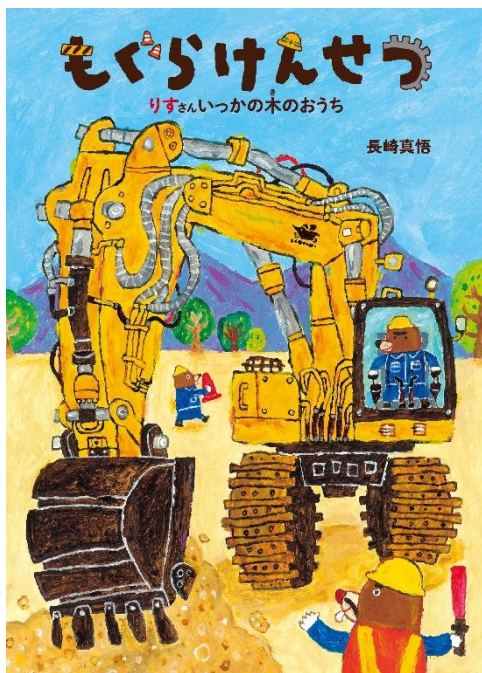
発売日：2025 年 10 月 29 日

定 価：1540 円（本体 1400 円+税 10%）

U R L：<https://www.doshinsha.co.jp/search/info.php?isbn=9784494023455>

童心社の「もぐらけんせつ」シリーズについて

町いちばんの工事の会社「もぐらけんせつ」の個性ゆたかな職人たちが、重機を使っていろいろなものを作り、町のみんなのために「あんぜんだいいち」で働くおはなし絵本シリーズ。第 1 作目『りすさんいっかの木のおうち』では傾いてしまったりすさん一家のおうちを修理し、第 2 作目『ぼんぼこでらのおまつり』ではこわれてしまったお寺の橋を工事。第 3 作目となる本作では、ドリルジャンボが初登場。山の向こうでドーナツ屋を開くあなぐまのしまい、そしてドーナツを食べたいという町のみんなのために、もぐらけんせつが山岳トンネルを建設します。



第 1 作目『りすさんいっかの木のおうち』



第 2 作目『ぼんぼこでらのおまつり』

〈問い合わせ先〉

- ・ニュースリリースに関して
- ・製品に関して

古河機械金属株式会社 経営企画部広報・IR 課
古河ロックドリル株式会社 営業企画部

TEL：03-6636-9501
TEL：03-6636-9522

トンネル工事はいつか「もぐらけんせつ」にやってもらいたいなと思っていました。もぐらは穴掘りが得意ですし、変わった重機が登場するので、楽しい絵本になると思ったからです。またトンネルは身近な存在ですが、どういう流れで作られているのかよく分からなかったため興味がありませんでした。

描くにあたり、古河ロックドリルさんを見学させていただきました。ドリルジャンボなどの重機の迫力はものすごく、さらに様々な工夫から今までの工事の苦労と進化を感じることができました。トンネル工事はカッコいい重機の活躍もありますが、安全への配慮と地道な作業の繰り返しで、本当に大変なお仕事です。

私もそうでしたが、トンネルを通るときにワクワクするというお子さんもいるかと思います。今回「もぐらけんせつ」はみんなのために一生懸命トンネルを掘ることになりますが、無事に貫通できるのか応援してもらえたらうれしいです。



吉井工場を見学する長崎真悟先生

■長崎真悟先生プロフィール

イラストレーター・デザイナー。恐竜や重機のイラストで幅広く活躍。群馬県生まれ、横浜市在住。東京デザイナー学院グラフィックデザイン科卒。おもな作品に『ぼくのきょうりゅうかんさつ日記』（徳間書店）などがある。『もぐらけんせつ りすさんいっかの木のおうち』で第15回「リプロ絵本大賞」受賞。



古河ロックドリルのトンネル機械について

■トンネルドリルジャンボ（国内シェア約 80%）

トンネルドリルジャンボは、山岳トンネル工事現場の最先端である切羽で発破用爆薬を装填する孔を掘る機械です。国内の道路や鉄道の山岳トンネルのほとんどで使用された実績があり、現在もリニア中央新幹線や北海道整備新幹線等の長大トンネル工事で活躍しています。近年、せん孔作業を自動化した機械も開発し、作業員の負担軽減、安全で正確かつ効率的な工事の実現に貢献しています。



■油圧ブレーカ（国内シェア約 40%）

碎石場や土木・建築現場等のインフラ整備に貢献する油圧ブレーカは、油圧ショベルのアタッチメント製品で、岩盤の掘削、岩石の小割、コンクリートの破碎などに使用されています。様々なニーズに対応するため基礎解体や岩盤掘削用の超大型ブレーカまでラインナップし、更に環境に配慮した超低騒音ブレーカも取り揃え、高品質かつ高打撃力の油圧ブレーカを世界各地に供給しています。



■コンクリート吹付機

コンクリート吹付機は、トンネル工事現場の岩盤や構造物を補強し、崩落を防ぐために、コンクリートを壁や天井に吹き付けて固める機械です。粉じんや跳ね返りを減らす構造で、急結剤により固めるので、作業性・安全性が高く、更に遠隔操作や環境に配慮したタイプをラインナップし、トンネル内だけでなく法面（斜面）の補強などでも幅広く活躍しています。



■参考動画

- ・「【社会課題を解決】巨大重機・ドリルジャンボでトンネル掘削編 | 古河機械金属 PV」
<https://www.youtube.com/watch?v=1tDy0vfI2So>

【補足資料】

■会社概要

【古河機械金属株式会社】(東京証券取引所プライム市場 証券コード 5715)

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：中戸川 稔

事業内容：鉱山開発で培った技術を受け継ぎ、現在では機械事業 3 部門（産業機械部門、ロックドリル部門、ユニツク部門）と素材事業 3 部門（金属部門、電子部門、化成品部門）を展開しています。

創 業：1875 年（明治 8 年）8 月

設 立：1918 年（大正 7 年）4 月

資 本 金：282 億 818 万円

従業員数：〈連結〉2,908 人 〈単独〉205 人 [2025 年 3 月 31 日現在]

WEB サイト：<https://www.furukawakk.co.jp/>

【古河ロックドリル株式会社】（古河機械金属株式会社 100%子会社）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：山口 正己

事業内容：1914 年、国産初の手持ち式さく岩機の開発が始まりで、現在はさく岩機のトップメーカーとして、油圧ブレーカ、油圧クローラドリル、トンネルドリルジャンボなど、インフラ整備、鉱山開発に不可欠なさく岩機の製造・販売を行っています。

設 立：1961（昭和 36）年 6 月

資 本 金：4 億円

従業員数：524 人 [2025 年 3 月 31 日現在]

WEB サイト：<https://www.furukawarockdrill.co.jp/>



強みの「ドリフタ」をコアコンピタンスとして共通の旗印に掲げ、キャッチコピー「KEEP THE BEAT!!!」を設定し、強靱な組織を目指しています。